

落合かつひろ これまでの主な取り組み



No.17

平成23年〈2011年〉4月～令和5年〈2023年〉2月

堅実な行政手腕、新たな課題への挑戦

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、令和3年7月4日～8月3日に、8競技、延べ65人からなるリトアニアチームの事前キャンプを受け入れました。リトアニアからは、近代5種の個人女子に出場したラウラ・アサダウスカイト選手が銀メダルを獲得しました。
- ・可燃ごみ戸別収集システムを令和元年10月に、夕陽ヶ丘・立野町・大神の各一部地域をモデル地区として導入。令和3年4月から、同地区で本格開始し、その後、対象エリアを順次、拡大しています。ごみの戸別収集には、①集積所までごみの運搬が不要、②排出責任の明確化、③景観・安全の改善などのメリットがあります。
- ・市内事業者への優先発注を進めています。令和3年6月に指針を策定し、より一層の受注機会を確保しています。
- ・死亡に伴う手続きをまとめた「ご遺族サポートコーナー」を令和4年9月に設置。遺族の方の窓口負担を軽減し、各種手続きをサポートしています。

市民の皆さんの安心・安全を第一に考え、取り組んできた成果を2月まで、毎週火曜日に紹介していきます。

発行：令和5年2月7日